



第21回 あらお荒炎祭

1



第11回 荒尾マジック釣り大会

1



1・3 さのよい踊りや太鼓などのステージパフォーマンス。2 石炭積みレース。4・6 行灯パレード。5 総踊り。7 大行灯。



1・2・4・6 マジック釣り。3 干潟でソリ遊び。5 おいしいマジック釣りの天ぷらの振る舞いもありました。7 干潟へ大行進。



あらおクイーン
秋田恵里菜さん

準あらおクイーン
米村幸子さん

7

8月2日、第21回あらお荒炎祭をあらおシティモーターで開催しました。カラオケ大会、さのよい踊り、太鼓、あらお観光大使・関島秀樹さんのライブなどのステージイベントに加え、石炭積みレース、あらおクイーンコンテスト、行灯パレードや総踊りなどが行われ、1万5千人ほどが祭りを楽しみました。

祭りは「海・山・大地」の情熱の四つの炎がテーマになっており、そのテーマを基に郷土の偉人・宮崎兄弟などの描かれた大行灯が披露されました。また、16店舗の食のブース「ふるさと 四ツ星市場」が催され、多くの人が舌鼓みを打ちました。

7月20日、第11回荒尾マジック釣り大会を荒尾漁協前の干潟で開催しました。県内外からも多くの参加があり、千人ほどがマジック釣りを楽しみました。

マジック釣りは干潟に作った巣穴に異物が入ると、はさみのついた前足で押し出す習性があります。その習性を利用して、干潟に「釜たて」というくぼみを掘る作業を行い、巣穴に毛筆を差し込んで、筆を押し上げてきたマジック釣りを引き上げます。

当日は、日差しが強く照り返す干潟の中で、大人も子どもも泥にまみれ、マジック釣りと真剣勝負を繰り広げました。



7